

浦安とみおか川柳会

一月例会結果

日時： 令和5年1月17日(火)
出席者： 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、長谷川智、藤三休、三浦みちえ、光永ひかる、山岸順、山口しだれ

講師： 佐藤青樹

点数
講師
推奨
課題「ルート」互選 講評*佐藤青樹

8 渋滞にナビと喧嘩の初詣 勝

6 ローカル線お国訛を聞く旅路 裕子
一読明快の句。「ナビと喧嘩」が効いていますね
絵が見え上手くできました

暗がりを選んで歩く二人連れ 裕子
一読明快の句

5 この人と生きると決めた人生路 裕子
一読明快の句ですが、リズム感を勘案し

4 落とし物今日一日を追いかける みちえ
参考：この人と人生行路行くど決め

愛犬のナビでいつもの遊歩道 ひかる
一読明快の句

大人へのドアこじ開ける反抗期 順
一読明快で絵が見える句

3 横道を許してくれぬ婿養子 順
「ドアをこじ開ける」が効いて上手くできました
よこしまな道に外れなくてよかったのでは

青春の夢の行く先迷い道 勝
下五の「迷い道」の解釈に迷う句か

参考：青春の夢の行方にある迷い
青春の夢の行方は霧の中
青春の夢の行方にまだ迷い

など、一読明快が良いのでは

2 登るより下るルートを嫌う靴 みちえ
そうですね。「嫌う靴」で決まりました

2 マイルート曲がりくねるが宝物 しだれ
紆余曲折はあったものの、幸せな人生行路だったのですね

参考：紆余曲折はあれど来し方悔いはなし
もう終点とても愛しい道だった ひかる
「愛しい」は辞典では かわいい、恋しい、慕わしい、気の毒だ
かわいそうだ、ふびんだ。とある。どの「愛しい」か

参考：もう終点景色見飽きぬ路線バス
句意は分かれますが、余韻を勘案し

1 伝播する東西文化絹の道 和昭
参考：古のシルクロードは砂に消え

分かれ道たどった先に幸運が 智
助詞止めになっているのでは

占いに人生行路教えられ 勝
占いを信じてよかったですね

開いても平方根は食べられぬ 和昭
ユーモラスに、かつ上手くできました

カーナビが新道通り海の中 智
カーナビが古い、橋ができてない？「海の中」できまり

没 通い道新たな発見ここかしこ どのな発見か
春うらら知らぬ花咲く通い道

何回もルート確かめ路線バス リズム感を勘案し
目的地にたどりつけずにスマホ見る
目的の地スマホのナビに助けられ

夜明けの散歩あの角曲がりポチに会う

川柳いろいろ

没句

互選 (ルート)

ドラレコがルート外れて迷い道
 セールの甘い言葉に買わされる
 自分流ルートの旅の若返り
 パソコンの前にオムスビ昼御飯
 ……テレワーク昼はいつでも塩むすび
 街歩き筋が違えば色変わる
 ……道筋を変えて楽しむ街歩き
 麻葉捜査謎のルートを暴きだす

一人選句 (浪費)

老い金持ちになりポランティア浪費
 福袋娘のおさがりを持って余す
 エンゲルの係数上げるうちのポチ
 老い金持ちになり浪費はしないよ
 時間のむだ記憶の荷物捨てに行く
 体とサイフ浪費しながらタバコ吸う
 家計は赤字でもスイーツに甘い

自由句

老いた犬抱いて渡る子信号機
 防衛費アイアム総理でごまかすな
 手垢の量増えて言葉を探す日日
 孫騒ぎ大人お節へポチ参加
 若人をたすき泣かせた過酷な日
 誘い受けトイレ心配バスの旅
 少しづつ春を装う葉の光
 立ちションで尻ロデイかなでる酔っ払い
 屠蘇やれず何がめでたい老いの春
 不信心誓詞はすぐに柵に上げ
 克つぞ百寿動ける体をつくる
 話は聞いてやらない岸田首相
 北島三郎が好きだがまつりが終わる
 家電壊れあげく水漏れた大晦日

川柳の理論と実践

新家完司

つまらない句とは何か(その二)

1 安易な言い回しではないのか?

- ・花びらを受けてころろをあらためる
- ・髪型を変えて明日の夢を追う

一見まとまって深いことを言っているようにみえます。しかしこのころろに響く真実味がありません。つまらない原因は「このころろをあたたためる」「明日の夢を追う」という言い回しです。今では見飽きてしまった。このような常套的で便利な表現を遣うといくらでも作れます。

- ・赤ちゃんの笑顔ころろをあたたためる
- ・スニーカー洗い明日の夢を追う

作者が感動してない作品で読者を感動させることは出来ない独自の想いが入ってない「言葉を並べた」作は心に響かない

2 自慢になつてないか?

- ・一目惚れしてゴールイン悔いはない
- ・世話かけた妻に感謝のフルムーン

「おのろけ」を聞かされておもしろくない

- ・この広い世界になんでこの主人
- ・しょうもない写真がたまる夫婦旅

想いの食い違い、興奮めすることを隠さず吐露すること

- ・産着着た曾孫のなんとあどけなき
- ・あどけない孫の仕草は見飽きない

「そのまま過ぎる」ので共感できません。「対象を客観的に見つめる」という川柳の基本姿勢が失せるからです

- ・DNA確かに孫はよくしゃべる
- ・ああ言えばこう言う孫が出来上がり

川柳は「にんげんを詠う」文芸です。肉親の情に流されぬよう「欠点を持った一人のにんげん」という目で観察

3 いい子ぶつてはなにか?

良いことを言っているだけで川柳味に乏しいものがある。

「格調高く品位がある」と勘違いしている人もいる。

- ・花の咲く未来信じて善を積む
- ・太陽と大地の恩を忘れない

道徳の教科書に書いてあるような良いことをいつている。いい子ぶっているように見えて読後の余韻などなく

「ほほう立派なんですね」と白けるだけです。

鑑賞 犬吠

令和三年二月号より

フラワールイン

- ・千紫万紅より

雪国が好き雪国が大嫌い
 変えられぬ根性悔いる冬の月
 人の形真似て転んだ水溜まり
 特別に寂しい富士の見える丘
 濃厚接触へむず痒き尾 既骨
 政治家と医者ウツワを比較する
 こんなにも人恋しくて予想外
 卵屋の口の軽さが命取り
 顔面にピストル当てる検温器
 こおろぎの内に秘めたるものがたり

黒潮集より

批判もあるが日の丸は美しい
 腕組みを解いて右脳を遊ばせる
 喪の葉書書く手は母を看取った手
 カラスウリほどの薄さで生を食む
 菜の花の中に菜の花その孤独

金波銀波 (各地句会報)より

お見舞いに希望の嘘をおいてくる
 のちがけ人は命をいくつ持つ
 家族愛シャッターチャンス逃さない
 父ちゃんの指切りいつも空手形
 うるさいが帰ると寂し孫の声
 ガラクタの整理で終る遺産分け
 老いて未だ断捨離できぬ私利私欲
 今更に怖いものなし八十路前
 墓仕舞いご先祖様が風になる
 触れ合いを避ける努力がおもてなし
 コーヒーに映る昭和へ浸る午後
 食べきれず嫁に気遣いそつと捨て
 生れても生まれなくても私の子
 ハンドルに遊びが欲しい妻の舵

斎藤静江
 柴垣 一
 斎藤靖子
 千葉加津子
 榎本ひかる
 影山照山
 柳沼賢二
 岩井ひさ江
 羽生田はる
 目黒八千代
 櫻井よし子
 吉田貞恵
 西澤はるか

互選句 課題「オアシス」 令和五年 二月例会

浦安とみおか川柳会

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ストレスを減らし健康オアシスへ	里帰り母のぬくもり感じとる	寒い夜急ぐ家路に待つは鍋	モヤモヤへ友とランチとシャンデリア	憩いの場求めさまようビル谷間	足湯して極楽に来た顔となる	掛け流し心身共にリフレッシュ	オアシスの母叔母義父母奮い立つ	遅咲きのビオラ一輪庭のすみ	二枚目より居心地がよい三枚目	帰り道わが家の明かり見とどける	尾瀬沼の遠い記憶に癒される	ウクライナジャパン名湯届けたい	脳を老化させないやり続け生き	傷ついた戦士やすらぐ母の胸	楽園の島へヒタヒタ迫る波	一日の緊張ほぐす窓明り	露天風呂山河に抱かれ雪味酒
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
									勝った日の新聞ひろげてるトイレ	帰り道わが家の明かり見とどける	オアシスに潜む悪魔の笑い顔	孫達と元旦墓参君笑顔	一掬の湧き水探す都市砂漠	やっと今応援の声好きに出す	傷ついた心を癒す母の胸	心魂を癒されに行くコンサート	聞きに行くお国訛のガード下